

テーマ

秋篠川共同体

目標

地域でつなぐ子育てのW A

～「共に 学びあい 育てあい」～

今年度の取組紹介

第2回 ホタルフェスタ 6月16日(日) 登美ヶ丘中学校と平城西小学校をお借りして開催しました。天候も抜群。今年から実行委員会で早期に取り組んできました。オープニングの「言葉のお芝居」月の光では、真っ暗にした部屋の中で、心にしみる演出でした。午後の部の「子ども太鼓秋篠」の演奏は、大変力強く、五臓六腑が揺れる迫力でした。来場者は、児童・生徒さんを中心に300名近くに上り多くの方々に楽しんでいただきました。



1月17日(金) 登美ヶ丘中学校で、公開研究会が開催されました。地域住民の方々をはじめ、遠く富山・高知からの参加者もみられました。午後からの国語の研究授業では、三好達治の「大阿蘇」の鑑賞。生徒の協同学習を取り入れ、文字に込められた情景の変化を生徒たちが見事に感じとっていき姿を目の当たりにして、生徒たちの素晴らしさを改めて感じました。その後の研究会では「学びの共同体」の創始者 学習院大学教授佐藤学氏(元東京大学大学院教授)の講演をいただくなど、充実した研究会となりました。



第2回英語検定・漢字検定に挑戦。1月26日(日)・2月2日(日)両日にかけて児童・生徒・大人述べ120人近くが真剣にチャレンジしました。中には小学校2年生で英検準2級を受験していたのには感心しました。

今年度のまとめ

地域学校支援活動の母体としての「地域教育協議会」の周知について、地域広報の手段として上記の「ホタルフェスタ」を開催しました。毎回300名を超える地域の方々の来場があり、大いに賑わいを見せてきていますが、「地域の子どもたちへの支援」という側面からは「お祭り」でしかなく、子どもたちが主体的に地域活動に参加できる機会を設定する必要があります。

学習支援事業として、昨年までの土曜英会話講座(部活動との兼ね合いで受講者が少なかった)を小学校にも拡大し、平日開催としたことで、受講者が倍増したことや、英検・漢検の準会場資格を取得して地元で家族ともども受験する機会を設けたことは大いに好評でした。

来年度に向けて

小中一貫教育構築を見据え、11年間の子どもの成長を地域教育協議会が一貫して支援するための具体策の検討が急がれます。また、一般教員の積極的な事業参画や子どもたちが参画できる事業の開発に地域教育力を結集することで、本校区としての特色ある教育環境づくりができると思われれます。

テーマ

学び合い・主体的に生きていく生徒の育成

目標

計画的な研修により、授業改善を行うと共に、諸行事を通して主体性を養う。
また、地域の組織力を活用して多くの体験活動を行う。

1、今年度の取組紹介

授業改善において、つながり、学びあえる授業づくりを目指して、市内の中学校、先進校視察（12月に東大阪市金岡中学校）、7月に大津の研修会、7月・1月に伊東の研修会で研究協議や講演会に参加し、「学びの共同体」についての理解を深めました。また、年3回、スーパーバイザーを招聘した公開授業研究会（毎回数十名他府県からも参加）では、地域の協力をいただき、多くの方のご批評や指導を受けて教育力の向上を図りました。また、サマースクールでは学習指導に協力していただき、学力の向上を図っています。



また、未来を担う自立型人間の育成を目指し、生徒総会で決まった年間スローガンの垂れ幕を製作し校舎の壁面に飾り、全校がこの目標に向かって行動しています。リーダー育成のため生徒会が中心になってリーダー研修会を年間2回（5日）実施しています。前向きな学校の雰囲気をつくり、生徒が自ら考え、行動する生徒会を目指し、まず生活の中の様々な場面での話し合いの仕方に重点を置いて取り組み、行事にも力を発揮しました。また防災訓練を想定し、最終日に炊き出し実習を地域の方々と共に行うことで、リーダーとしてのつながりを持ちました。



クリーン作戦や苗植え、秋篠川清掃活動のほか、地域教育協議会主催のホタルフェスタの会場校として、隣接する平城西小学校と共に学校を開放し、1日を通して地域、保護者、幼・小・中と交流を持ちました。

2、今年度のまとめ

・「学びの共同体」システムを導入して5年目になり、地域と共に先進校視察・公開授業・授業検討会等を推進することで、授業を丁寧に進めることができ、生徒も先生も共に成長する授業が展開されています。生徒の表情も柔らかく、学力の向上などの成果がみられています。

・年間を通じて、地域の方に活動していただいております。校内や校外では、きちんと挨拶の出来る生徒へと育てています。また、見守られているという安心感もあります。破損も少なく校内もきれいに保たれています。

3、来年度に向けて

・地域教育協議会を核として、幼・小・中の連携を図り、一貫性のある教育、また保護者、地域、学校が共に手を携えて、地域の子ども達を育てていく教育を追求していきます。そのために来年度は、地域連携の係を各学年でつくり、様々な活動の場面で必要な連絡や協力などが行えるように工夫していきたいと思っております。

テーマ

地域で子どもをはぐくみ子どもで地域がつながる

目標

子どもたちをはぐくみ、地域や保護者で子どもたちを温かく包み込みながら見守る活動を通して地域全体がつながっていくことを目標とする。

今年度の取組紹介

学校の年間計画の中で、支援体制が位置付き、学校と支援者との連絡調整も円滑に行えることで、しっかりと連携できました。

学習支援活動では、毎月の図書館支援・低学年の生活科における活動の補助など子どもたちの学習を支える活動や学習環境の整備をすることができました。入学もない新一年生の下校の引率や「西部図書館へ行こう」・校外学習の補助など、学校だけではできない部分を協力してもらうことにより、行事や活動が円滑に進みました。様々な場面で、子どもたちは地域の方々と関わりを持つことにより、学校内だけではなく、地域の中で、親しみを持って地域と関わりもったり、幼稚園・保育園との交流をしたりして 地域とのつながりを深めることができました。

本校では、3年前に子どもたちが地面を掘るところから始めたビオトープが完成し、秋には池の上を飛ぶトンボも増えるなど学校の中庭に位置付き、うれしそうに池をのぞきこむ子どもたちの姿が見られるようになりました。今年度は4年生の児童が、ホタルプロジェクトとして、昆虫の話を聞いた後、ビオトープにヘイケホタルの幼虫と餌になる貝を放流しました。無事に育ち、中庭にホタルが飛ぶことを子どもたちは楽しみにしています。

また、50周年を迎える学校と共に育ってきた冒険の森は、子どもたちが自然観察をしたり、秋には栗拾いをしたりできる立派な里山となっています。この森を守るために、落葉を集めて肥料にしたり枝を集めたり、地域の方々と一緒に整備活動を行っています。今年度は、地域予算で森の中の園路を整備して、子どもたちが活動しやすい環境を整えました。



今年度のまとめ

各支援グループの活動が学習活動の中でしっかりと位置付き、教育活動や補助活動の支援をしていただくことにより子どもたちが安心して活動することができ学習も円滑に行うことができました。また、地域の方と一緒に学校の花壇に花を植えたり、ビオトープにホタルを放したりすることで、学校の環境に対する子どもたちの意識も変わってきました。

来年度に向けて

ボランティアの方々の熱心な取り組みと子どもへの温かい心配りのおかげで子どもたちとのふれあいは深まり、今年度はPTAとの連携も強まりました。保護者の積極的な関わりを増やすなど、より一層みんなで地域をつなげていきます。また、ビオトープや冒険の森は継続して子どもたちの活動の場として維持・発展させていくのはもちろんだが、来年度は、子どもたちの大好きなお話の会を、学習へいっそうつなげていくため読書活動に力を入れていきたいと考えています。

テーマ

「いきいき わくわく 楽しい学校」

目標

児童の活動意欲と互いに慈しみ合う優しさの醸成

《今年度の取組紹介》

本校児童は明るくて元気であるが、自分の気持ちや感情の表現が未熟で人間関係をうまく築きにくい傾向があります。そこで、芝生広場や水生生物コーナーを学校環境として整備するとともに、学校図書館の環境を整えることによって豊かな情操を育み、児童の心に慈しみ合う気持ちを培いたいと考えました。また、「本物に出会う」「本物にふれる」体験によって興味関心を高め、意欲的に課題に取り組める学習環境や学習活動を工夫し、学びがいのある楽しい学校にしていきたいと思います。さらに、様々な人とのかかわりを通して、豊かな心を育む取組を計画的に位置づけ、地域よさや温かさを実感できるような特色のある取組を目指したいと考えています。

【主な取組】

- **芸術鑑賞会**：地域教育協議会とPTAの支援により、芸術鑑賞会「大治太鼓による和太鼓の演奏」を実施しました。今回で3年目となり、本校児童だけでなく平城西幼稚園児、保護者や地域の方々と共に楽しいひと時を過ごし心に残る鑑賞会となりました。
- **平城西水族館**：昇降口前に水槽を並べ水生生物を飼育しています。毎日観察しながら会話する児童の姿があります。「ニッポンバラタナゴ」の里親は3年目となり、環境学習に取り組む4年生を中心に全校で見守り飼育しています。稚魚がたくさん誕生し、群れをなして泳ぐ様子は全校児童を楽しませてくれました。
- **環境の整備**：ボランティアによる各学級での本の読み聞かせも定着し、読み聞かせのための図書を購入して読書環境が充実しつつあります。保護者・地域のボランティアによるブッカーシールかけや蔵書補修の活動も定着してきました。また、栽培活動や樹木の剪定などボランティアの協力を得て環境の維持管理や美化活動を行うことができました。
- **出前授業**：低学年は命の学習・工作・昔遊び、中学年は地域・環境学習を中心に取り組みました。また、3年生は毛筆書写を通して伝統文化のよさを味わう機会となり、5年生は地域の「秋篠川を愛し育てる会」の代表からお話を聞く等、地域のよさや人々の思いを知る大切な学習となりました。



《今年度のまとめ》

生活科や総合的な学習の時間で計画的に出前授業を取り入れ、命の学習や地域学習、環境学習等で「本物にふれる」機会が増え、児童の興味や関心、学習意欲を高めることができました。また、3年生の書写では、毛筆の出前授業を通して伝統文化のよさを味わう貴重な機会となっています。集中力も高まり書道に関心を持つ児童が増える等、出前授業の成果を見ることができました。

《来年度に向けて》

様々な学校教育活動の場面で地域ボランティアの協力を得た活動が構成されるように学習活動を計画するとともに、地域・保護者・校種間連携等に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

テーマ

みんなあつまれ つるまい なかよしっ子

目標

地域の子どもは地域でつながる

今年度の取組紹介

地域の子どもは地域でつながることを目標に、幼稚園・保育所・小学校との連携を図り、未就園児を含めた地域ふれあい活動を進めています。ゲストティーチャーを招き園庭の花壇や畑での栽培活動をしました。季節を取り入れ、お花や夏野菜、じゃがいも、玉ねぎ、さつまいも、大根ブロッコリーと、たくさんのお花や野菜を世話して収穫することができました。園庭には四季とりどりの花が咲き子ども達は毎日水やりをして花や野菜に声掛けをしていました。収穫したものは幼稚園でみんなで食べたり、家庭に持ち帰って食べました。お客様や未就園児を招き、一緒に食べることができ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

近隣の幼稚園と一緒に春と秋に遠足に行くことが出来ました。小学校との連携では年間計画を立て、小学校1・2年生と一緒に手をつないで大淵池公園へ、春と秋園外保育に出かけました。地域のボラン



ティアの方々に見守られ安全に楽しく遊ぶことが出来ました。秋には小学校行事の



「おもちゃランド」に参加し、お兄さんお姉さんと一緒にふれ合って遊んだり交流することが出来ました。未就園児は年間計画のもと、在園児と交流をして一緒に遊んだりお話の会でお話を聞いたり、楽しい幼稚園生活を知っていただくいい機会となりました。

今年度のまとめ

子ども達は豊かな感性が育ち、自分の思いを表出し、自己実現する力も培うことが出来ました。栽培活動や環境整備を地域の方や保護者と共にすることで、季節を感じ、植物の生長を身近に感じたり、収穫に感動し、育てる楽しさを共に味わうことが出来ました。花や野菜の水やりをする時に、「おおきなあれ」「あまくなあれ」と毎日声掛けする姿が見られました。活動を絵に描いたり、作品展の素材として個性のあふれた作品が出来上がりました。また、いろいろな人と触れ合う体験を積み重ねることで、身近な人に親しみを持ち、人とかかわる楽しさを味わい、優しさや思いやりの心が育ちました。みんなで活動する楽しさを味わい、心を豊かにすることが出来ました。地域の方にも子どもたちは明るくあいさつがきちんとでき、好奇心に満ちた表情の豊かさに感動を受けましたと評価をもらいました。

来年度に向けて

園児たちはたくさんの友だちや地域の方と交流することが出来ました。今後も小学校や地域との交流を計画的に位置づけていきたいと思えます。各行事は自治会を通して広報していますが、参加が難しいのが課題です。園と地域と家庭が一体となり、地域に開かれた幼稚園としてこれからも努力していきます。

テーマ

みんなでつくろう楽しい幼稚園

目標

様々な感動体験を積み重ね、豊かな心や健やかな身体、主体的に活動に取り組もうとする意欲を育む。親子・地域がともに楽しめる幼稚園づくりをする。

今年度の取組紹介

○ 地域の様々な方との交流

昔遊びをしよう あやとり・めんこ・こま回し・けんだま・竹馬・かるたとり等々の昔遊びを小学生や地域の方々と一緒に楽しみました。遊び方を教えていただき、できるようになるまで何度も挑戦し繰り返し楽しんでいました。こま回しなどは幼稚園でも友達と競い合っていて遊んでいました。



お話会 毎月1回地域の方が幼稚園に来てくださり、ペープサート・大型紙芝居・絵本・素話・指人形などいろいろな方法でお話を聞かせていただいています。想像性や感性が豊かになり話を聞く態度も身につきました。絵本大好きの子が増え毎週の絵本貸出も楽しみにし、家庭での読書の機会が増えています。

○ 親子で楽しむ感動体験

親子で絵本づくり 子どもたちが想像したことを絵や話に表現し、親子で製本、表紙づくりをしました。作品展に展示したことで、多くの方が手に取り読んでくださいました。

ママ元気UP講座 フットケア・新体操・アートフラワー・講演会と4回実施しました。地域の民生委員やコーディネーターの方などにも参加していただき、子育てについてアドバイスを受けて情報交換をしたりして、子育てに対する価値観の幅を広げ、子育てを楽しんでもらう機会になり、保護者同士の親睦にもつながりました。

今年度のまとめ

- 地域の様々な人との交流により、その温かい雰囲気や眼差し、言葉掛けなどをとおして周りの人と支え合う気持ちや感謝の気持ち、人とかかわる心地よさなどを感じ、未就園児や友達に対しても優しく接し、思いやりの気持ちが育ちました。すすんで挨拶をしたり話しかけたりする幼児が増えました。地域の方も「地域の中の幼稚園」という温かい目で見てくださいています。
- 保育参加や親子での活動を積み重ねたことで、子どもたちの成長をその度に感じ親子の共通の会話が aumentato との感想が寄せられています。
- 感動体験の積み重ねにより言語・体力・生活習慣等総合的な成長がみられました。

来年度に向けて

- 園・家庭・地域のつながりをさらに深め、今年度の取組を継続して実践していきます。
- 子育て支援の充実のため、保護者が安心して親子活動に参加できるよう下の子に対する配慮が必要と思われるので、地域のボランティアを募り協力を依頼したいと考えています。